

# 知的特別支援学級に関する内容

	ページ
☆ 知的障害のある児童生徒の特性と学習上の工夫	23
☆ 知的障害特別支援学級の教育課程のポイント	24
☆ 知的障害特別支援学級の週日課（例）	25
知的障害特別支援学級の授業づくり	26
生活単元学習	28
小学校の生活単元学習の年間指導計画（例）	29
中学校知的障害特別支援学級の授業スタイル	30
中学校の生活単元学習の年間指導計画（例）	32
作業学習	33
日常生活の指導	34

☆…年度始めに見ておくとい資料

# 知的障害のある児童生徒の特性と学習上の工夫

## 学習上の特性

知的障害とは一般的に、認知や言語などにかかわる知的能力や、他人との意思の交換、日常生活や社会生活、安全、仕事、余暇利用などについての適応能力が同年齢の児童生徒に求められるほどまでには至っておらず、特別な支援や配慮が必要な状態とされています。

学習指導要領において、知的障害の特徴及び学習上の特性等を踏まえ、児童生徒が自立し、社会参加するために必要な知識や技能、態度などを身に付けることを重視し、各教科等の目標と内容等が示されています。

学習上の特性としては、次のようなことがあげられます。

○学習によって得た知識や技能は断片的になりやすいので、より生活に根ざした具体的な内容を、繰り返し指導していくことが必要である。

○成功体験が少ないことが多く、主体的に取り組む姿勢が弱いため、「やれた」「できた」という体験を通して、自己肯定感や意欲的に取り組む態度を育てる。

○抽象的な内容は理解しにくいいため、生活に結び付いた具体的な活動を中心に据え、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣を身に付けることができるようにする。

## 基本となる教育的対応

このことから次のような教育的対応が求められます。

○児童生徒の実態等に即した指導内容を選択・組織する。

○児童生徒が、自ら見通しをもって行動できるよう、日課や学習環境などを分かりやすくし、規則的でまとまりのある学校生活を送れるようにする。

○望ましい社会参加を目指し、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣が身に付くよう指導する。

○キャリア教育を重視し、将来の自立に必要な基礎的な知識や技能及び態度が育つよう指導する。

○生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据え、実際の状況下で指導する。

○生活の課題に沿った多様な生活経験を通して、日々の生活の質が高まるよう指導する。

○児童生徒の興味・関心や得意な面を考慮し、教材・教具等を工夫するとともに、目的が達成しやすいように、段階的な指導を行うなどして、児童生徒の学習活動への意欲が育つよう指導する。

○できる限り児童生徒の成功体験を豊富にするとともに、自発的・自立的な活動を大切にし、主体的活動を促すようにする。

○児童生徒一人一人が集団において役割が得られるよう工夫し、その活動を遂行できるよう指導する。

○児童生徒一人一人の発達の不均衡な面や情緒の不安定さなどの課題に応じて指導を徹底する。

# 知的障害特別支援学級の教育課程のポイント

## 週日課を作成する前に必ず読みましょう

### 特別の教育課程について

特別支援学級は、通常の学級における指導では十分その効果を上げることが困難な児童生徒を対象としています。そのため、学級の実態や児童生徒の障害の程度を考慮し、特別の教育課程によることができると規定されています。(学校教育法施行規則第138条)

特別の教育課程とは、

- ①各教科の内容を下学年や知的障害特別支援学校の各教科の内容に替えることなどができる。
- ②授業の1単位時間など弾力的な取り扱いができる。
- ③各教科等を合わせた授業、いわゆる領域・教科を合わせた指導ができる。
- ④領域として自立活動の指導ができる。
- ⑤他の適切な教科用図書を使用できる。

「領域・教科を合わせた指導」とは、学校教育法施行規則第130条第2項の規定による各教科等の全部又は一部を合わせた指導のことで、各教科、道徳、特別活動、自立活動を合わせて授業を行うことです。

これらの指導の形態として

- ・ 日常生活の指導
- ・ 遊びの指導
- ・ 生活単元学習
- ・ 作業学習

があります。

### 教科用図書の採択

特別の教育課程を編成している特別支援学級において児童生徒の実態から文部科学省検定済教科書を使用して学習を行うことが適当でない場合には、他の適切な教科用図書を使用することができます。

<教科用図書の採択>

- ①各教科の文部科学省検定済教科書の中から該当学年のものを選定



- ②各教科の文部科学省検定済教科書の中から下の学年のものを選定



- ③文部科学省著作教科書(国語、算数・数学、音楽)の中から選定[いわゆる☆本]



- ④①～③までの中で適当なものがない場合、一般図書(特別支援学校・学級用)の中から選定

一般図書は、静岡県教育委員会が作成する一般図書選定一覧を基に、児童生徒の学習の状況等に応じて選択します。

まず、前年度までにどのような教科書が支給されているのか、把握することが必要です。

特別支援学級のハンドブック P15～17、21～26 を見てください。



教科書を展示している教科書センターは資-24ページに載せてあります。

# 知的障害特別支援学級の週日課（例）

## 作成のポイント

- ・学年ごとの日課表を作りましょう。
- ・小学校では日常生活の指導、生活単元学習、中学校では生活単元学習や作業学習を行うことができます。（P28、33、34 参照）
- ・交流及び共同学習を実施する場合は、交流学級名を記入するとよいです。（P48、49 参照）  
 〈小学校〉 例（3年生1人、5年生2人、6年生3人）

	月			火			水			木			金				
	3年	5年	6年	3年	5年	6年	3年	5年	6年	3年	5年	6年	3年	5年	6年		
1	日常生活の指導																
2	国語	国語 体育 (5-1)	国語 体育 (6-1)	算数	算数	算数	国語	国語	国語	算数	算数	算数 体育 (6-2)	国語	国語	国語		
3	社会	社会	社会	体育 (3-1)	自立活動	自立活動	音楽	音楽	音楽	社会	社会	社会	生単	生単	生単		
4	図工	図工	図工	理科	理科	理科	算数	算数 体育 (5-2)	算数	体育	体育	体育	生単	生単	生単		
5	音楽	音楽	音楽	生単	生単	生単	総合	総合	総合	図工	図工	図工	学活	学活	学活		
6	△			生単	生単	生単	総合	総合	総合	△			家庭	家庭	自立活動	クラブ	クラブ

※体育は、2時間のうち1時間を交流学級で行う。白抜きの部分は交流学級において授業を受ける。

〈中学校〉

例（1年生2人、2年生4人、3年生1人）

	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	国語	国語	国語	数学	数学	数学	国語	国語	国語	数学	数学	数学	国語	国語	国語
2	音楽	音楽	音楽 (3-1)	保体	保体 保体 (2-4)	保体	美術	美術	美術	自立活動	自立活動	自立活動	道徳	道徳	道徳
3	数学	数学	数学	国語	国語	国語	数学	数学	数学	理科	理科	理科	社会	社会	社会
4	理科	図工	図工	社会	社会	社会	外国語	外国語	外国語	保体 (1-1)	保体	保体	学活	学活	学活
5	外国語	外国語	外国語	総合	総合	総合	作業	作業	作業	技家	技家	技家	生単	生単	生単
6	△			総合	総合	総合	作業	作業	作業	技家	技家	技家	生単	生単	生単

※白抜きの部分は交流学級において授業を受ける。

※2年生の火曜日2校時の保健体育については、1人は交流学級で、3人は学級で授業を受ける。

# 知的障害特別支援学級の授業づくり

## 実態に即した課題づくり

課題をつくるために、実態把握のポイントとして

・聞けるか、読めるか、書けるかの視点でみる。(聞けていなければ、読めない。読めていなければ書けない。)

聞けているのかを確かめるために、読み聞かせを行って、単語の意味が理解できているのか確認します。

具体的には

・話をしている人の方を見ながら聞いているか。

・聞く姿勢ができていないか。

・「花」を「穴」、「箱」を「はんこ」と聞き間違ったり、発音したりしていないか。

・サ行など特定の音を聞き間違いや誤った発音をしていないか。

・簡単な言葉でもなかなか理解できないことはないか。

など音韻認識において課題はないか、に着目します。

意味理解においては

・理解が困難なために、指示に従うことができず、行動に移せないことはないか。

・友達の行動を見て行動していないか。

・話の文脈を捉えることができていないか。

・話し合いに参加できず、黙って聞いていることはないか。

など様子を確認していく必要があります。

聞き続けるために

・ちょっとした雑音、人の動きなどで注意が削がれていないか

・話を最後まで聞くことができていないか。

・聞き漏らしがないか。

・聞いたことをすぐ忘れていないか。

・指示を聞き返すことができないか。

など注意集中や記憶においての実態も把握することによって、課題が選択しやすくなると思われます。

読めているのかを確かめるために

・読ませてみて確認します。(平仮名、カタカナ、特殊音節、漢字)

書けているのかを確かめるために

・「友達に手紙を書こう」などと児童生徒に分かりやすい活動を通して、把握します。(視写、なぞり書きなど)

# 知的障害特別支援学級の授業づくり

## 課題について

中心課題とは

未習熟の内容について、その時間に教師と一緒に取り組むことによって、学んでいく課題です。

自立課題（達成課題）とは

教師と一緒に取り組んだ中心課題で、解決できるようになった問題を一人で繰り返し行うことによって、覚えたことを忘れない、上達するなど学習の定着を図っていきます。

児童生徒にとっても、「これはできる」という自信につながります。そして、自己評価、他者評価、相互評価など多様な評価方法も取り入れ、繰り返し行うことによって、自己肯定感を高めることもできます。

このようにして、中心課題と自立課題（達成課題）を組み合わせていくことにより、児童生徒の主体的な学びや新たな課題に気付く深い学びにつながります。

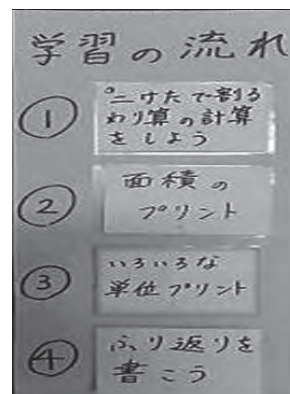
P16を参考にしてください。



## 授業の流れづくり

学年や個々の実態が異なり、学ぶ教科・内容が違う場合、一人一人に合わせた学習内容を組み立て、児童生徒に学習の流れが分かるものを提示します。繰り返し行う中で、「何を行ったらよいのか」、「どこまで行ったらよいのか」が理解できるようになります。また、自立課題(達

成課題)に取り組んでいる間は、「静かに取り組む」、「課題が終わった時に答えが合っているかどうかを確かめる際、自分で丸付けを行うのか、友達同士で行うのか」など学習上のルールを決めておき、習慣化(分かるように)していくとよいです。



# 生活単元学習

## 生活単元学習とは

児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするための一連の活動を組織的に経験することによって、

自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習する指導の形態です。

## 望ましい「生活単元学習」の条件

○実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態等や興味・関心などに応じたものであり、個人差の大きい集団にも適合するものであること。

○単元は必要な知識・技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度の形成を図るものであり、身に付けた内容が生活に生かされるものであること。

## 単元の種類と単元例

単元のタイプ	単元のテーマや単元展開の特徴	具体例
行事単元	学校行事等と関連した活動を単元としてまとめる。	なかよし遠足に行こう、学習発表会をしよう、新入生歓迎会をしよう等
季節単元	季節の生活に関する活動を単元としてまとめる。	夏祭りをしよう、お正月遊びをしよう等
生活課題単元	偶発的な出来事を契機とした活動を単元としてまとめる。	転校した友達に会いに行こう、お見舞いに行こう等
	社会生活に必要な事柄・活動を単元としてまとめる。	宿泊学習、校外学習等
制作や飼育を中心とした単元	制作や飼育活動を単元としてまとめる。	〇〇ランドを作ろう、野菜を作ろう等
調理を中心とした単元	調理活動を単元としてまとめる。	おいしいパンを作ろう おやつを作ろう 等

○児童生徒が目標をもち、見通しをもって、単元の活動に積極的に取り組むものであり、目標意識や課題意識を育てる活動をも含んだものであること。

○一人一人の児童生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、集団全体で単元の活動に共同して取り組めるものであること。

○各単元における児童生徒の目標あるいは課題の成就に必要なかつ十分な活動で組織され、児童生徒の自然な生活としてのまとまりのあるものであること。

○豊かな内容を含む活動で組織され、児童生徒がいろいろな単元を通して、多種多様な経験ができるよう計画されていること。

# 小学校の生活単元学習の年間指導計画（例）

## 作成のポイント

- ・ 全校行事、特別支援学級の合同行事、歓迎会、送別会などの行事に合わせた単元を中心にします。
- ・ 単元と単元のつながりや、単元と他の教科との関連を考慮します。
- ・ 継続性のある単元を毎年決まった時期に繰り返すことによって学習の発展や定着が望まれるよう設定することが大切です。

月	主な行事	生活単元学習（ <span style="background-color: #cccccc;">          </span> は関連教科等）	畑での栽培活動
4	入学式 始業式	○いちご狩りに行こう ・いちごを摘もう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜を植えよう</li> </ul>
5		・いちごジャムを作ろう <span style="background-color: #cccccc;">算数：いちごの数を数えよう、社会：地域を探検しよう、学活：交通ルールを守ろう、家庭：調理をしよう</span>	
6	なかよし遠足	○なかよし遠足に行こう <span style="background-color: #cccccc;">学活：乗り物の乗り方や公共施設の使い方、マナーを知ろう</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜カレーを作ろう <span style="background-color: #cccccc;">家庭：調理をしよう</span></li> </ul>
7	終業式 夏休み	○七夕集会をしよう <span style="background-color: #cccccc;">国語：物語文を読もう、体育：身体表現をしよう、図工：七夕飾りを作ろう</span>	
9	始業式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を植えよう</li> </ul>
10		○市内特別支援学級交流会へ参加しよう ・学習発表会で発表しよう	
11	市内特別支援学級交流会 学習発表会		
12	中学校区交流会（フルーツパーク） 終業式 冬休み	○フルーツパークへ行こう <span style="background-color: #cccccc;">算数：お金について知ろう、学活：交通ルールを守ろう、乗り物の乗り方や公共施設の使い方、マナーを知ろう</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいも料理、野菜を使った料理に挑戦しよう</li> </ul> <span style="background-color: #cccccc;">家庭：調理をしよう</span>
1	冬休み 始業式	○1年間の振り返りのまとめ ・思い出のアルバムを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬野菜を使って、料理にしよう</li> </ul> <span style="background-color: #cccccc;">家庭：調理をしよう</span>
2	学校公開	・学校公開で1年間の学びを発表しよう ・お世話になった人へ感謝の気持ちを伝えよう	
3	6年生を送る会 卒業式	・国語：思い出を書いて、発表しよう	

特別支援学級のハンドブック P 23  
をご覧ください。





# 中学校の知的障害特別支援学級の授業スタイル 生徒とともに授業をつくるPDCAサイクル

## 1 生活単元学習と教科をつなぐ計画の作成

集団活動として友達と一緒に活動したり、実際的な状況下で繰り返し学習したりする生活単元学習は、見通しをもち、主体的に活動できることから、知的障害のある生徒に効果的な学習であると言われています。そこで、生活単元学習の課題の解決に向けて、教科の学習で取り組めることを考えてみましょう。例えば、新入生歓迎会をしたいという生徒の思いを達成するために、学校紹介や自

己紹介の場面において、相手を意識した話し方を学ぶ国語の学習と関連付け、教科横断的に活動を組み立てると、生活の中で学んだ知識が生かされ、生きて働く力となります。これは、教科担当や学校司書など、専門的な知識をもつ教職員に生徒の願いや、授業で育てたい姿を具体的に示すことになり、活動の幅を広げる機会にもなります。

## 2 生徒の学びのサイクル

中学生の発達段階を踏まえ、計画の立案や活動の選択、振り返りを生徒自身が行う学びのサイクルを意識して授業を計画していきましょう。集団としての課題を解決するために個別の学習を行い、分かったことやできるようになったことを集団の学びに生かすことによって、集団の良さや大切さに気づき、将来の社会参加へ力がつきます。また、教師が生徒とともに「計画の作成」「自己評価」を行うことで、生徒の思いをもとに主体的な授業をつくる

ことができていきます。解決に必要なヒントプリントや資料を提示し、学習の途中でも資料を見るために移動してもよいというルールを示すことも支援の一つとして効果的です。特に、長時間着席していることが苦手な生徒には適度な気分転換になります。次の学習へ切り替える指示や助言がほしいタイミングであることが教師に伝わります。また、指示待ち傾向の強い生徒には、自分で課題を解決するにはどうしたらいいか考える機会にもなります。

## 3 振り返りを次の課題設定へ

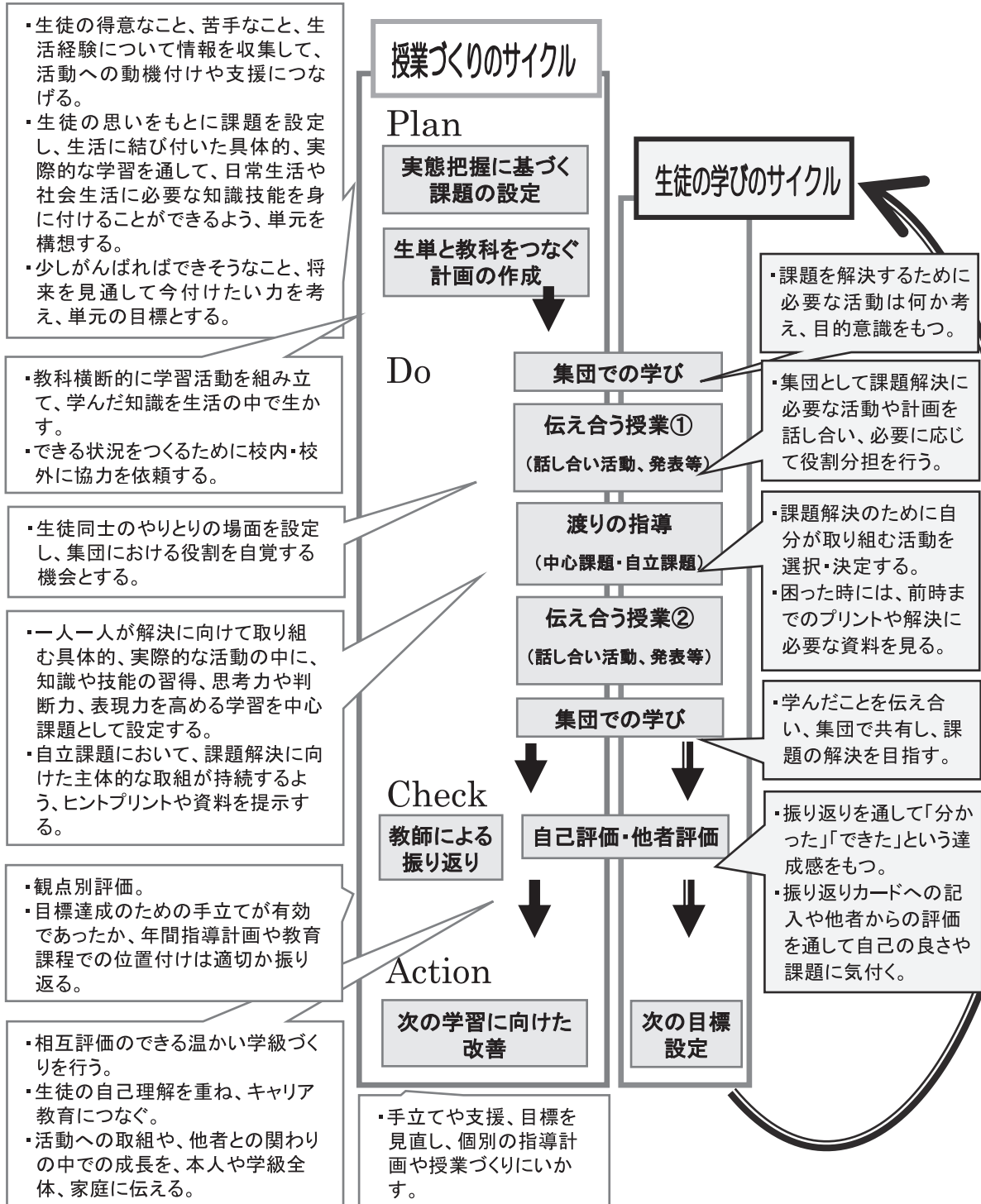
成功体験に対する自己評価を通して自分の良さに気づくことは、自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、主体的に自己の進路を選択・決定することにつながります。そのため、自分の行動を客観的に振り返ったり、他者との関わりの中で自己理解を深めたりする力を育てたいものです。

そこで、チェックリストは具体的な活動の場面に絞り、分かりやすい言葉

で目標を立てたり、「◎」「○」という段階ごとに記述したりするとよいでしょう。掲示しておくことで、活動中も意識して取り組むことができいきます。また、目標設定を行う中で、生徒の表現に「～のために（目的）」や「～をして（方法）」などの視点を加えることにより、活動後の姿をより具体的に描けるようになることが期待されます。

# 中学校の知的特別支援学級における授業モデル

知的障害の特性を踏まえて、生活単元学習を中心に教科の学習を組み立てた授業モデルを示します。ここでは、生徒一人一人が学びの必要感や見通しをもち、集団として学び合うことを目標としています。「生徒の学びのサイクル」として、課題の解決に向けて計画の立案や活動の選択、振り返りを行い、生徒とともに学習を組み立てていきます。



# 中学校の生活単元学習の年間計画（例）

月	主な行事	生活単元学習（ <span style="background-color: #cccccc;">          </span> は関連教科等）	野菜をつくろう （畑での栽培活動）
4	入学式 始業式 新入生歓迎会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会をしよう <b>国語：聞く・話す</b></li> <li>・学校探検をしよう</li> <li>・春探しをしよう <b>理科：春の草花</b></li> <li>・1年間の予定</li> <li>・手紙を書こう <b>国語：手紙の書き方</b></li> </ul>	<夏野菜> トマト ナス ピーマン等 作物を決める 畑の整備と畝作り 鍬の使い方
5	自然教室 修学旅行 特支学校交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然教室に行こう（2年生） <b>家庭：調理 国語：日記</b></li> <li>・修学旅行に行こう（3年生） <b>数学：お金 国語：日記</b></li> <li>・交流会をしよう</li> </ul>	苗植えと種まき  観察日記を定期的 に書く
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭劇</li> </ul>	<秋野菜> サツマイモ
7	夏休み 終業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバムを作ろう <b>国語：話す 表現</b></li> </ul>	草取り 水まき 収穫・調理
8	夏休み 始業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の予定</li> </ul>	草取り 水まき
9	学校祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭に向けて （招待状を含む） <b>国語：手紙の書き方</b></li> </ul>	<冬野菜> ブロッコリー ダイコン等 作物を決める 畑の整備と 畝作り
10	校外学習 進路先見学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習に行こう <b>音楽：鑑賞 数学：お金</b> （芸術の秋・読書の秋）</li> <li>・合同運動会に向けて（応援）</li> </ul>	草取り 水まき
11	合同運動会 特支学校交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同運動会をがんばろう <b>体育：リレー・マット等</b></li> </ul>	観察日記を 定期的 に書く  収穫・調理
12	職場実習 終業式 冬休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場実習について（3年生） <b>作業学習</b></li> <li>・アルバムを作ろう</li> </ul>	<春野菜> ジャガイモ エンドウ豆等 作物を決める
1	始業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の予定</li> <li>・高等部入学者選考に向けて（面接練習を含む）（3年生） <b>国語：聞く・話す</b></li> </ul>	収穫・ 調理
2	高等部入学選考 学習発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会をしよう（販売練習を含む） <b>作業 国語：話す・表現 音楽：合唱・器楽</b></li> </ul>	草取り 水まき 観察日記を 定期的 に書く
3	お別れ遠足 修了式 卒業式 離任式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お別れ遠足に行こう <b>数学：お金</b></li> <li>・アルバムを作ろう</li> <li>・卒業生を送る会をしよう（1，2年生） <b>美術：制作 国語：手紙・話す</b></li> <li>・卒業に向けて（3年生） <b>国語：手紙・話す</b></li> </ul>	↓ （次年度へ継続）

知的障害

# 作業学習

## 作業学習とは

作業活動を学習活動の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習する指導の形態です。

作業活動を通して働くための知識・技能や働く意欲、責任感、協調性、持続力、集中力、根気強さなどの働く力を養うことが期待できます。

作業学習は、主に中学校の知的障害特別支援学級で取り組んでいる指導の形態ですが、小学校でも生活単元学習の中で作業的な活動を多く取り入れて指導されています。

## 主な作業種の例

農業	野菜、穀物、キノコ等
園芸	花、ドライフラワー等
畜産	養鶏、うずら等
紙工	箱、コースター等
木工	鉢カバー、ベンチ等
紙すき	はがき、コースター等
織工	座布団、マフラー等
縫工	雑巾、エプロン等
窯業	花瓶、小皿等
金工	文鎮、ちりとり等
印刷	名刺、はがき等
セメント加工	ブロック、敷石等
調理、製菓	パン、クッキー等
リサイクル	空き缶、古新聞等

## 望ましい「作業学習」の条件

○生徒にとって、教育的価値の高い作業活動等を含み、それらの活動に取り組む喜びや完成の成就感が味わえること

○地域性に立脚した特色をもつとともに、原料・材料が入手しやすく、持続性がある作業種目を選定すること

○生徒の実態に応じた段階的な指導ができること

○生徒の実態に応じて、共同で取り組める作業活動を含んでいること

○作業内容や作業場所が安全で衛生的、健康的であり、作業量や作業の形態、実習期間などに適切な配慮がなされていること

○作業製品等の利用価値が高く、生産から消費への流れが理解しやすいものであること

※中学校特別支援学級の「産業現場等における実習（現場実習）」の例

特別支援学級のハンドブック  
P 25、26 を見てください。



# 日常生活の指導

## 日常生活の指導とは

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するものです。指導内容は、知的障害特別支援学校小学部の生活科の内容だけでなく道徳や特別活動を始め、各教科等にかかわる広範囲の内容が扱われます。衣服の着脱、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的な生活習慣の内容や、あいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること、決まりを守ることなどの日常生活や社会生活において必要で基本的な内容などがあげられます。

## 指導で大切なこと

単なる基本的な身辺処理能力や日常生活動作の習得にとどまらず、生活の見通しをもって、その時々での生活の諸活動を自力でできるように、生活意欲や態度を育てることが大切です。

日常生活の諸活動は、スムーズに取り組めれば自然に流れますが、つまづいてしまうと一日の生活のリズムが崩れることもあります。日常生活の指導では、生活の自然な流れを損なわないさりげなさが重要です。

## 望ましい「日常生活の指導」の条件

○日常生活の自然な流れに沿い、その活動を実際的で必然性のある状況下で行うものであること

- ・日常生活場面では、トイレの後、給食の前、戸外から戻った時などに「手を洗う」行動をします。実際の生活場面で「手を洗う」行動を積み重ね、生活習慣としての技能や態度を育てることが重要です。

○毎日反復して行い、望ましい生活習慣の形成を図るものであり、繰り返しながら、発展的に取り扱うようにすること

- ・日常の諸活動は、毎日一定の時間に繰り返し取り組みます。この繰り返されることが生活への見通しとなり、意欲や望ましい生活習慣の形成につながります。

○できつつあることや意欲的な面を考慮し、適切な支援を行うとともに、目標を達成していくために、段階的な指導ができるものであること

- ・日常生活の指導には、着替えや食事、生活リズム等、家庭生活に関連する内容も多く含まれます。連絡帳、学級通信、面談等を活用し、家庭との指導の連携を図りましょう。

○指導場面や集団の大きさなど、活動の特徴を踏まえ、個々の実態に即した効果的な指導ができるよう計画されていること

- ・学級全体の計画に加え、個人別の指導計画を作成します。

特別支援学級のハンドブック  
P 23、24 をご覧ください。

